



義務教育学校の開設に向けた取り組み

令和六年に開学する新たな学校の校名を募集していましたが、総計で二三四件の応募があり、畑野町住民からは小学校児童も含めて四九件の応募がありました。

七月に開催された新学校コンセプト検討グループ会議で、応募された学校名に寄せる思いや願いを一つひとつ確認しながら数点に絞り込み、市教育委員会へ報告、八月に開催された教育委員会最終選考が行われ、新たな学校名が『亀岡市立 育親学園』に決定しました。

亀岡市議会九月定例会で条例としての議決を経て、正式に決定されることとなります。

南桑中学校の分校から育親中学校となつて七十余年。開校時から「育親」という名に込められた想い・伝統が、新しい学校になつても継承されていくことを望む声がたくさん寄せられていただけに、これからも地域の誇りとして「育親」という名が残ることを喜ばしく感じます。

『育親』という名

校名には所在地の名を冠にしたところが多いが、『育親』という名称は、教育・学校の理想が反映された造語である。『育』とは文字どおり「人を育み、育てる場」であること。『親』は「人のつながり、絆」という意味のようです。

マイナンバーカードをお持ちでない方へ

マイナンバーカード申請の出張窓口を、畑野町公民館で臨時に設けます。つくりたけど市役所へ行くのが大変...という方はご利用ください。

○開設日 九月一日(木)

午後二時～三時三十分

○開設場所 畑野町公民館

○持ち物等 マイナンバー通知カード

本人確認書類(免許証等)

○事前予約制となりますので電話で予約を！
予約専用ダイヤル(25) 5215

「地域こん談会」を書面で開催

住民(自治会)と行政(亀岡市)がまちづくりの課題や情報を共有し、協働のまちづくりを進めていく目的で、毎年、自治会単独で「地域こん談会」を開催していますが、西部地区を取り巻く環境は、各町ともに高齢化が進み、一人暮らし世帯も増えています。また、空き家の増加や地域の担い手不足を抱えている等々共通する課題も多いことから、四町自治会合同での「西部ブロックこん談会」として開催する計画で進めてきました。

しかし、新型コロナウイルスの地域こん談会を中止し、こん談を予定していた次の四項目について、文書回答をもらうとういうかたちに変更して実施しました。

この回答を確認して後に、今後の取り組みを四町自治会長で協議し、対応していくこととしています。

- ①西部地区の地域振興策について
- ②消防分署(西部出張所)の設置について
- ③義務教育学校の開設に向けた諸課題について
- ④行政手続きの簡素化に向けた取組みについて

新型コロナウイルスが急拡大しています

亀岡市の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は五月の連休明け以後十名前後で推移してきましたが、最近では、百名を超える日が続くまで急拡大しています。感染拡大防止対策を徹底するとともに、栄養や睡眠を十分にとつて健康管理に留意してください。

○高齢者や基礎疾患のある人が感染すると重症化するリスクが高い傾向にある
と言われています

○発熱などの体調不良時の外出は控えてください

○ワクチンの三回目接種がまだの人、早めの接種をご検討ください



敬老会の催しを中止します

長寿をお祝いするとともに地域や社会のために活動されていることに感謝を申し上げる敬老会の催しを、九月に開催する計画でありましたが、新型コロナウイルス感染症が再拡大している状況下にあつて、感染予防のため、昨年続き今年も中止とさせていただきます。

敬老会の催しに代えて、長寿のお祝いの品を後日お届けしますので、ご理解をお願いします。

コロナの感染拡大が収まらない中、我慢の日々が続き大変ですが、どうぞご自愛いただきこれからも健康でお過ごしいただきまことを祈念申し上げます。

町民運動会を中止します

体育振興会のメイン事業であります町民運動会を、コロナ感染予防のため、昨年に続き今年も中止とさせていただきます。

自粛生活が続く、フレイル(虚弱)防止のためにもスポーツを楽しみたい気持ちが高まっている時ではありますが、各自で運動に親しんでいただき、体調管理にご留意ください。

今後の事予定

- 八月二十日(土) 夏の星空観察会
- 八月二十三日(火) 介護予防支援事業①
- 八月二十七日(土) 自治会常任委員会
- 八月三十日(火) 介護予防支援事業②
- 九月一日(木) マイナンバーカード申請窓口の開設
- 九月六日(火) 介護予防支援事業③
- 九月十日(土) 亀岡市戦没者追悼式
- 九月十三日(火) 介護予防支援事業④
- 九月十七日(土) 畑野小学校運動会
- 九月二十日(火) 介護予防支援事業⑤

